

平成29年 3月23日

宗像市議会
議長 花田 鷹人 様

予算第2特別委員会
委員長 岡本 陽子

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

第20号議案 平成28年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について

事業勘定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ5,589万円を減額し、122億146万円とする。直営診療施設勘定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ332万5千円を減額し、7,767万9千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 事業勘定について
(1) 歳入において、額の確定により共同事業交付金、保険基盤安定繰入金と財政安定化支援事業繰入金を減額する。それに伴い、国庫支出金、県支出金を増額する。
(2) 歳出において、額の確定により共同事業拠出金を減額する。また、人件費等の減額に伴い総務費、保健事業費を減額する。繰出金については、へき地診療施設に対する補助金の確定により増額し、直営診療施設勘定に繰出す。

(3) 歳入が変更されることに伴い、歳出で保険給付費、後期高齢者支援金、介護納付金の財源内訳を変更する。

2 直営診療施設勘定について

- (1) 歳入において、額の確定により事業勘定繰入金を増額する。また、一般会計繰入金を減額する。検査機器購入の補助金額の確定により、国庫支出金を減額する。
(2) 歳出において、人件費等の減額に伴い総務費を減額する。また、検査機器購入の額が入札で確定したため、医業費を減額する。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第21号議案 平成28年度宗像市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,156万8千円を増額し、15億134万6千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

保険料の決算見込み額の変更に伴い増額する。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第22号議案 平成28年度宗像市介護保険特別会計補正予算(第3号)について

保険事業勘定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1億4,391万6千円を減額し、74億7,426万円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 介護認定審査件数が見込みより少なかったため、歳出で主治医意見書作成手数料と認定調査委託料を減額する。特に要支援1、2の人からの認定申請が大幅に減っている。
- 2 サービスの利用が当初の見込みを下回ったことや事業の延期等により、決算見込み額に基づき、歳出で保険給付費と地域支援事業費を減額する。
- 3 保険給付費等の補正に伴い、財源内訳に応じた金額を歳入の補正額として計上する。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第23号議案 平成28年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ143万6千円を増額し、5,113万円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

歳出において、臨時審査会の回数が見込みより少なかったため審査会委員報酬費等を減額し、福津市からの派遣職員の人件費の増額補正により、派遣職員負担金を増額する。また、それに伴い、歳入で本市と福津市の負担金を増額する。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第24号議案 平成28年度宗像市渡船事業特別会計補正予算（第3号）について

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ959万3千円を減額し、8億6,311万2千円とする。また、地方債の補正を行う。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

燃料単価が見込みより低かったこと、また、船舶建造工事にかかる契約額の確定により、歳出を減額する。それに伴い、歳入で一般会計繰入金、市債を減額する。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第25号議案 平成28年度宗像市漁業集落排水処理施設事業特別会計補正予算（第3号）について

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1億2,400万円を減額し、2億8,781万4千円とする。また、繰越明許費、地方債の補正を行う。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

国庫補助事業の採択率が低かったことに伴い、歳入、歳出を減額する。また、地方公営企業適用業務委託料について、入札不調で契約時期が遅れたため、漁業集落排水一般事務費を次年度に繰越す。鐘崎地区圧送管布設工事については、布設箇所道路新設工事の施工に合わせ繰越す。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第 26 号議案 平成 28 年度宗像市下水道事業会計補正予算（第 3 号） について

収益的収入及び支出において、収入を 1 1 2 万 2 千円増額し、収入総額を 2 8 億 8, 0 9 8 万 8 千円とし、支出を 6, 7 0 5 万 4 千円減額し、支出総額を 2 5 億 1, 0 8 0 万 5 千円とする。

資本的収入及び支出において、収入を 3, 9 4 9 万円減額し、収入総額を 4 億 9, 4 9 4 万 7 千円とし、支出を 5, 1 0 0 万円減額し、支出総額を 1 4 億 8, 8 7 5 万 8 千円とする。合わせて、企業債の限度額の変更を行う。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 収益的収入において、BCP（地震時の業務継続計画）の補助事業の採択を受けたことにより国庫補助金を増額する。
- 2 収益的支出において、水道管布設工事に合わせて予定していた人孔や公共柵布設替工事を見送ったため、工事請負費を減額する。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第 28 号議案 平成 29 年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計 予算について

予算総額は、歳入歳出それぞれ 5 7 4 万 8 千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 28 年度中に 2 人分 3 件の償還が完了し、29 年度当初の滞納件数は 2 6 人分 3 7 件となる予定である。滞納繰越分のうち、28 年度中に納

付がなかったのは 1 0 件で、滞納者本人や保証人等も含めて支払い困難なケースが多く、対策に苦慮している。

- 2 新たに債権回収業者に委託を行い、業者のノウハウやネットワークに基づく助言を受けながら回収業務を進めていく予定である。また、引き続き弁護士と協議の上、法的手段も検討していく。

【意見】

（賛成意見）

- ・職員が限界のところまで努力しており、その結果として業務の委託も検討したと考える。少しでも早く、少しでも多くの貸付金を回収することを望む。
- ・既に委託を行っている自治体の事例等、業者が健全であることをしっかり審査した上で委託し、頑張ってもらいたい。
- ・債務者の状況や生活にも寄り添いながら貸付金を回収する努力をもっとしてもらいたい。
- ・債務者に支払いをしてもらうのはもちろんのことだが、その生活はきちんと確保した上で進めていってほしい。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第 29 号議案 平成 29 年度宗像市国民健康保険特別会計予算について

事業勘定の予算総額は、歳入歳出それぞれ 1 2 1 億 9, 0 2 8 万 6 千円とする。直営診療施設勘定の予算総額は、歳入歳出それぞれ 7, 9 0 5 万 8 千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1 事業勘定について

- (1) 29年度の被保険者数は前年度比4.4%、982人の減少を見込んでおり、そのうち介護保険第2号被保険者（以下「2号被保険者」という。）数は前年度比11%、828人の減少を見込んでいる。国民健康保険への新規加入者よりも、75歳到達による後期高齢者医療への移行者が多くなったことに加え、28年10月からの短時間労働者の被用者保険加入により減少幅が拡大したと考えられる。
- (2) 2号被保険者数の減少により、国民健康保険税のうち介護納付金分について、所得割の率を0.3%、均等割額を300円引き上げる改定を行う。医療給付費分と後期高齢者支援金分は現行通りである。
- (3) 主要事業である賦課徴収事務と医療費適正化特別対策事業に引き続き精力的に取り組むとともに、30年度からの国民健康保険制度単単位化に向け、現行システムの改修、運用の見直し等を行う。

2 直営診療施設勘定について

現在の医師に代わり新たな医師が派遣される予定。29年度は大きな医療用機器を購入しないため、歳出で医業費が前年度比5.4%の減額となっている。

【意見】

(反対意見)

- ・ 2号被保険者数の減少という社会的な要因による財源の不足分は、政策的な判断により市がまかなうべきであり、保険税の引き上げによって2号被保険者に負担を強いるべきではない。

(賛成意見)

- ・ 保険税の引き上げはやむを得ないが、子育て世代である2号被保険者が負担をして保険制度を支えていることをもう少し広報してほしい。
- ・ 保険給付費が年々増加していることは大きな課題であるが、それに対し、市がレセプト点検やジェネリック医薬品の使用促進など、ポイントを押さえながら取り組んでいることを評価する。また、保険税が引き上げとなることは制度上やむを得ないことであるため、今後も歳出に対して歳入を一致させるという国民健康保険制度の原則を守り、しっかり運営してほしい。

【審査結果】

委員会は賛成多数で原案のとおり可決した。

第30号議案 平成29年度宗像市後期高齢者医療特別会計予算について

予算総額は、歳入歳出それぞれ15億8,138万円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

予算総額は前年度比で7.1%増額となっている。要因は、加入者の増加によるもので、この傾向は2025年まで続く予想されている。

【審査結果】

委員会は賛成多数で原案のとおり可決した。

第31号議案 平成29年度宗像市介護保険特別会計予算について

保険事業勘定の予算総額は、歳入歳出それぞれ78億6,276万3千円とする。介護サービス事業勘定の予算総額は、歳入歳出それぞれ3,524万7千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1 保険事業勘定について

- (1) 1号被保険者数は増加し続けているが、認定者数はほぼ横ばいで、特に要支援1、2の認定者数の減少傾向が顕著である。
- (2) 地域包括支援センターの委託や新しい包括的支援事業の拡充に伴い、介護給付費・地域支援事業費における地域支援事業費の割合が前年度に比べ増加している。

- (3) 29年度は第7期事業計画策定の年であるため、歳出で事業計画策定支援委託料を新たに計上している。
- (4) 歳出の保険給付費は、介護職員処遇改善加算という臨時の報酬改定も盛り込み計上している。
- (5) 包括的支援事業・任意事業費は地域包括支援センターの委託拡大に伴い、歳出で総合相談事業費が前年度に比べ増加している。
- (6) 第6期介護保険事業計画において、地域包括ケアシステム構築のための重要な事業と位置付けられている新たな4つの事業について、歳出で以下の予算を計上している。
- ①在宅医療・介護連携推進事業費
在宅医療と介護サービスの連携体制の構築を推進するもの。
 - ②生活支援体制整備事業費
生活支援コーディネーターや協議体の設置により、地域の支え合い体制づくりや高齢者の生活支援の充実を推進するもの。
 - ③認知症総合支援事業費
初期集中支援チームによる認知症の早期対応や地域支援推進員による相談等を通し、認知症の人がより暮らしやすい地域の構築を推進するもの。
 - ④地域ケア会議推進事業費
多職種協働による事例検討を通し、ケアマネジメントの充実と地域課題の把握と解決を図るもの。
- (7) 債務負担行為で、29年度に着手する30年度の地域包括支援センター業務委託費を計上する。

2 介護サービス事業勘定について

歳入の主なものは、介護予防サービス計画費と介護予防ケアマネジメント費で、歳出の主なものはケアマネジャーの人件費である。

【意見】

(反対意見)

- ・今後も高齢者数が増加する中で、地域のボランティア等だけでは介護の対応は困難であり、自治体の負担が大きすぎる。国の方向性が介護給付

費の削減に集束されてしまっており、社会保障としての制度が維持できないと考える。

(賛成意見)

- ・中学校区に地域包括支援センターができ、地元ボランティアも盛り上がりを見せているため、第2層の協議体を早期に作ってほしい。

【審査結果】

委員会は賛成多数で原案のとおり可決した。

第32号議案 平成29年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計予算について

予算総額は、歳入歳出それぞれ5,106万9千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

審査会での28年度の審査件数の割合(宗像市64.5%、福津市35.5%)を基本とし、歳出項目に応じて両市の負担金を計上する。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第33号議案 平成29年度宗像市渡船事業特別会計予算について

予算総額は、歳入歳出それぞれ7億4,950万4千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 28年度からの2カ年度で、新船の建造事業に着手しており、28年度に60%、29年度に40%の予算を計上している。

- 2 事業収入の予算積算には、世界遺産登録による来訪者数の増加予測値は加算しておらず、適宜補正で対応する予定である。
- 3 船員を1人増員して17人とし、再任用等短時間職員1人分も含め、歳出の職員人件費に計上する。

【意見】

(賛成意見)

- ・船員の処遇改善を喫緊の課題と捉え、担当課と市長でしっかりと検討して安全運航に努めてほしい。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第34号議案 平成29年度宗像市漁業集落排水処理施設事業特別会計予算について

予算総額は、歳入歳出それぞれ4億7,104万1千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

企業会計への移行に備え、本会計で保有する固定資産の整理業務のため、歳出で委託料を計上する。また、大島処理場の改築工事、鐘崎地区圧送管布設工事関連の事業費を計上する。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第35号議案 平成29年度宗像市下水道事業会計予算について

収益的収入及び支出において、収入の予定額を28億6,933万4千円とし、支出の予定額を24億9,633万円とする。

資本的収入及び支出において、収入の予定額を6億8,347万2千円とし、支出の予定額を16億7,145万7千円とする。また、企業債の限度額を3億8,670万円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1 収益的支出について

28年10月から稼働開始した消化ガス発電および電気料金の値下がりにより、動力費を前年度比約28%減額して計上する。消化ガス発電により、現状で一月あたり約200万円の電気料金削減になっている。

2 資本的支出について

(1) 処理場改築更新工事に係る委託料を増額したことにより、施設整備費を前年度比28.5%増額し計上する。

(2) 28年度に引き続き、山田地区污水管渠築造工事、深田地区雨水排水路工事等を実施する予定である。また、污水管渠長寿命化の実施設計等を計画している。

【審査結果】

委員会は賛成多数で原案のとおり可決した。